

「愛される施設に」

戸田中央リハ病院完成

首都圏に29の病院や六つの介護老人保健施設などを運営する戸田中央医科グループの「戸田中央リハビリテーション病院」が戸田市新曽南4丁目に完成し、内覧会と竣工しゅんこう式が5日、同院で行われた。

同院は医療法人社団東光会のリハビリ専門病院として2



「良質な医療、介護、リハビリテーション提供に努める」と話す中村毅医療法人社団東光会理事長。5日午後、戸田市新曽南の戸田中央リハビリテーション病院

002年に開院。これまで、病床数を129床から200床へと大幅に増加させた地上5階建ての新病院として、新築移転工事が行われていた。

竣工式であいさつした中村毅理事長は「患者さまに住み慣れた地域内でのリハビリが可能になると期待している。

これからも一人一人と真摯(しんし)に向き合い、良質な医療、介護、リハビリテーションの提供に努める」と述べた。

佐藤信也院長は「新しい病院はスタッフのアイデアが細かいところまでいっぱい詰まっている。患者さまにご利用いただき、元気に帰っていただけると思っている」と期待を寄せた。

式では同グループの中村隆俊会長も登壇し「この病院はリハビリを中心に、愛される皆さんの病院になるのを楽しみにしてください」と関係者に謝意を述べた。

新病院は11月1日、5階までの各階に最新の機器を導入したりリハビリテーション室を備えた、全床回復期の医療機関として開設する。